

■動作環境(推奨)

CPU: Intel Core i5 以上·メモリ: 8GB 以上・OS: Windows 7 32bit/64bit 以降

アプリケーションソフト: SIS ActiveX Modeller V7.1

※Windows7は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

※SIS ActiveX Modellerは、株式会社インフォマティクスの登録商標です。

北海航測株式会社は、ISO9001を認証取得しました。

北海航測 ⑪ 株式会社

91

1701

〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目 TEL: 011-611-3225 FAX: 011-631-1791 URL http://www.hokkai-jp.com/ E-mail hokkai@hokkai-jp.com

農業振興支援システム

機能概要

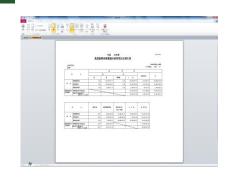
図形表示

各種ベクトルデータとラスターでデー タを任意に組み合わせて表示するこ とにより目的に応じた詳細な土地に 関する利用状況を把握することがで きます。



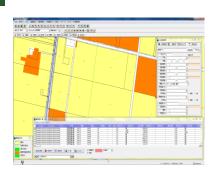
調書出力

農振整備計画書管理状況報告書な どの各種帳票を印刷する事が可能 です。



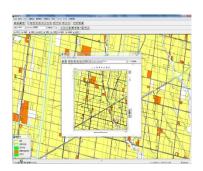
属性検索

地番及び用途区分を指示することに よりそれぞれの属性情報を表示しま す。さらに検索条件を詳細に指定す ることにより該当する地番位置表示 及び土地利用属性を表示します。



図面出力

整備計画及び土地利用に関する 各種図面を印刷することができま す。さらに、除外・編入の申請に 必要な添付図面の印刷も可能で す。



図形と属性 の修正

農振計画の除外・編入にともない、 図形データ及び属性データを修正す る事ができます。図形表示状態から 直接属性情報を更新することができ、 土地内での複数地目に対する更新 も可能です。



経営 者 取り込機能

農地基本台帳で管理を行なって いる経営者情報をインポートする ことにより、経営者の把握を行う ことができます。



農業振興支援システム

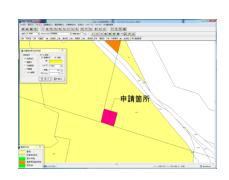
機能概要

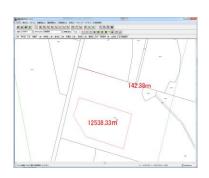
作業領域 作図機能

ライン、ポリゴン、文字などを自由に 作図する事が可能です。 申請書などの図面を作成する際に 活用できます。

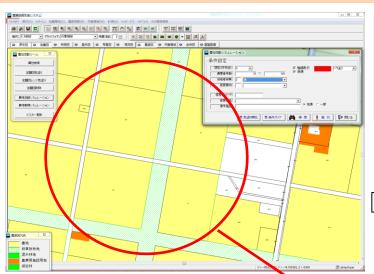
計測機能

簡単なマウス操作で2点間の距 離や指定した面積を計測する事 が可能です。





農地流動シミュレーション



経営者の年齢、後継者有無の条件を基に5年後、10 年後の想定年を指定することで農地流動の対象地(赤) を抽出する。

これらは、将来的に耕作放棄地となり得る要素を持った 土地であり、今後の様々な施策を検討する資料とする。

【条件設定例】

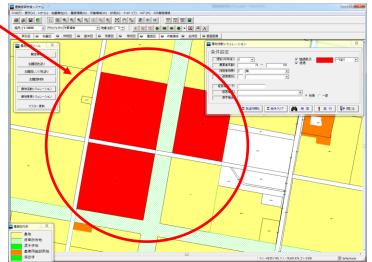
想定年:5年後

想定年の農業者年齢:70歳~100歳

後継者:なし

【検索結果表示例】

赤色塗り箇所が該当となり、耕作放棄 地となり得る地番となる。





HOKKAI KOSOKU **CORPORATION**

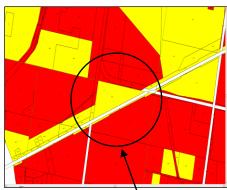
農地集積

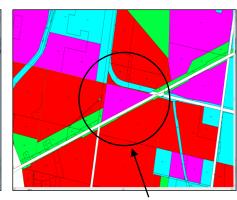
現状の農業において、農業者の高齢化や後継者不足により担い手不足が顕著であ り、今後は地域での話し合いを通じた合意形成等により、地域の中心となる経営体へ の農地集積を促進することにより、農業の競争力・体質強化を図り、持続可能な力強 い農業構造を目指すことが課題となっています。

①受益農家の将来経営意向の把握

農家台帳(農業者情報)を基に経営者の年齢、後継者の有無、経営意向(規模拡大・縮小)を関連情報として、地番図上に 色分け表示し、地域農業の現状を視覚的に把握する。







年齢:【70歳】

後継者:【無】

経営意向:【規模縮小】

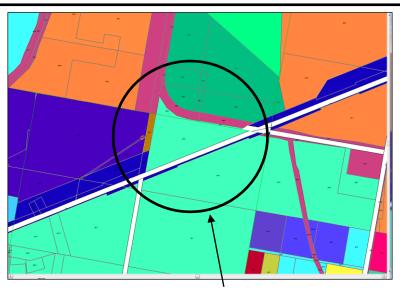
耕作放棄地の予想も可能



農業者の将来意向等を基に、農地集積が必要な 土地を抽出し、隣接する拡大意向のある農業者へ 集約する。

②農地の集積シミュレーション

想定年と農業者の基準年齢(定年)を設定し、想定年における農地確保の状況予測を行う。 農業者情報を基に、想定年の段階で経営されない農地を、近隣の規模拡大意向のある農業者、後継者のいる農業者へ振替 えて、将来の土地集積の予測を行う。



集積された土地

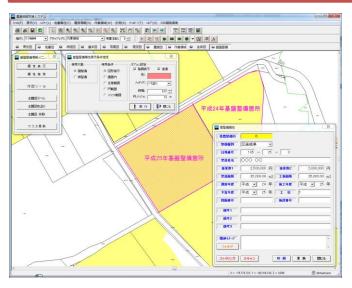
【例】 経営者の年齢が70歳、後継者が無、経営意向が規模縮小の農地が、隣接する経 営意向が規模拡大で後継者がいる方へ流動します

基 盤 整 備

農村地域の振興のための、総合的な施策の推進における国・道が実施する農地 基盤情報を一元的に管理し、市町村が定める総合的な農業振興計画の策定・計画 変更申請の基礎資料及び、窓口確認支援に活用することが可能です。

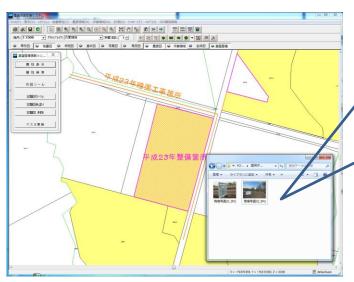
【効 果】

- ①農業振興整備計画総合見直しにおける基礎資料
- ②農用地転用時における事業実施の有無確認(事業後8年間は用途変更不可)
- ③過去の整備内容・工事履歴を確認
- ④現状の機能状況の把握
- ⑤今後の整備地区・整備手法の検討



【データ登録画面】

面整備・線整備事業に応じた、図形入力画面を用意することに より、容易に図形データ・属性データ登録が可能です。



【データ項目】

面整備事業(区画整備、暗渠等)

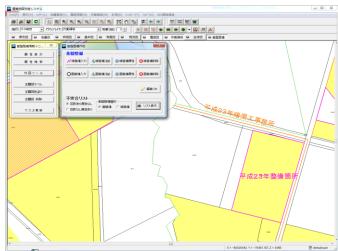
- ①工事箇所(範囲)をポリゴン管理
- ②属性:「受益者名」「事業名」「面積」「工種」「施工年度」 「工区名」「整備主体」等

線整備事業(道路、用水路、排水路)

- ①工事箇所をライン管理
- ②属性

道路:「路線名」「事業名」「幅員」「延長」「構造」「施工年度」 「整備主体」等

用水路·排水路:「施設名」「事業名」「幅員」「延長」「構造」 「整備主体」「管理者」等



現地の写真及び工事関連書類などをファイリングする事が可 能です。

膨大な資料をスリム化し、パソコンで管理を行えます。

■導入実績

平成13年 北見市 平成13年 北見市 平成13年 芹別市町 平成23年 別海士 平成23年 平成24年 平成25年 平成27年 標別内町 平成27年 様払村町町 平成28年 中央28年 中